

# 虹をかける人たち



2012  
国際協同組合年  
《記念企画》



上/あんしん広場の参加者に声をかける池田さん。下/会場前には直売所の移動販売車も



# 仲間仲間 に囲まれて 老いていききたい

長野県JAあづみ

くらしの助け合いネットワーク「あんしん」

## 池田陽子さん

元気なときは仲間を支え、年をとったら支えてもらう。そんな助け合いの仕組みが長野県安曇野市にある。そこには、組合員が喜びを持って自主的に地域参画できるような人材育成に尽力してきた女性職員がいた。

文●成見智子 写真●青木衛

北アルプスの常念岳を望む長野県安曇野市。JAあづみ本所の駐車場から、福祉課の池田陽子さん(64)が運転する車が、出てきた。八十四歳になる望月登志子さんの様子を見に行くという。望月さんは、JAあづみくらしの助け合いネットワーク「あんしん」の活動の一つである有償在宅サービスの利用会員だ。

望月さん宅では、利用会員のお世話をする協力会員の沓掛和子さん(75)が、お茶をいれていた。二人は二十年前、ホームヘルパーの資格を共に取得した仲間。沓掛さんは掃除や草むしりなどを担当する。家庭菜園の手入れや料理をする協力会員もいるという。望月さんは十四年前に夫を亡くしたが、娘からの同居の誘いを断り、介護保険制度と有償在宅サービスを併用し、独り暮らしを続けている。「常念岳が見える場所で、家でとれた野菜を食べて暮らしたいの。ヘルパーさんに言えないことも、仲間には頼めるのよ」望月さんはかつて、ホームヘルパーとして活躍し、足が不自由になる五年前まで「あんしん」の協力会員でもあった。ヘルパーの資格取得を勧めたのは池田さん。組合員同士が助け合って暮らすには、



望月さん(中央)と沓掛さん(左)。仲間にも頼られることに喜びとやりがいを感じるという

が持っているんだなと、現場に出て組合員の声を聞くたびに感じました。元気なうちは自分ができるところをして仲間を支援、年をとったら支えてもらう仕組みがあれば幸せですよ。ただ、その幸せは人につくってもらうのではなく、自分自身がつくっていくものだと思うんです」

有償在宅サービスが始まった、翌年の一九九九年、JAあづみは人材育成のための「生き生き塾」を開講。農業、食、健康、福祉、環境などの講座を設けた。「自分にできることはなにか、学んだことをどう生かすか、塾生は自分で考えるようになるんです。そこから、いろんな活動をするグループが生まれました」

農作物や加工品を売る直売所、ヒマワ

池田さんはそうした活動を後押ししながら、リーダーとなる人材を見だし、活動の輪を広げることに努めてきた。

## 縁の下の力持ちに

上堀地区の公民館では、「あんしん」のもう一つの活動であるミニデイサービス「あんしん広場」が開かれていた。参加した約二十人の利用会員の女性たちは、昼食をとった後、キーボードやハーモニカの演奏に合わせて合唱を始める。曲が進むにつれ、歌声は大きくなった。歌の後には、心身機能活性のための運動。指導士の資格を持つ協力会員とともに専用の器具を使って体操を始めると、女性たちの顔に、ほんのり赤みがさしてくる。最

曾根原さんが、池田さんから朗読のリーダーに推薦されたのは八年前だという。

「姑の介護がいちばんたいへんな時期で、ぜったい無理だと思ったけど、説得されて一歩踏み出したの。続けてこられたのは、生きがいと仲間があつたからよ」

支える側も、支えられる側も、それぞれの喜びや幸せを見いだせるよう組合員

の協同組合の姿。どうしたら組合員のやる気を引き出せるか、いつも考えています。人が育てばJAはもっと強くなると思うし、わたしも、そんな仲間にもまれて老いていきたい。自分自身がそう願うから、ここまでこられたんでしょね」

楽しかった、と言って帰路につく女性たちを、池田さんは笑顔で見送った。

### いけだ・ようこ

1948年、長野県南安曇郡の農家の長女として生まれる。鯉淵学園卒業後、あづみ農業協同組合に生活指導員として入組。JA長野中央会への出向を経て2000年、JAあづみ福祉課長となる。06年に定年退職するが、現在も職員として活躍。11年には、農協人文化賞と若月賞を受賞。

### JAあづみくらしの助け合いネットワーク「あんしん」

1990年に発足した農協婦人部の高齢者福祉ボランティア制度を再構築し、98年に設立。活動の柱は、有償在宅サービスと「あんしん広場」。有償在宅サービスの利用者は、98年の開始以来700人近くにのぼる。2001年にスタートした「あんしん広場」は月1回、管内26か所で開催。年間合計およそ320回、約5700人が参加。「生き生き塾」は組合員教育活動を発展させて開講。1期2年で、約150人が毎月1回受講。「あんしん広場」で協力会員として卒業生も